

いこいの村聴覚言語障害センター 16日に「開所40周年記念祭」

府中丹文化会館で入場無料

「障害者支援施設 いこいの村・栗の木寮」(十倉名畑町)が1982年に開設されて40年になるのを機に、いこいの村聴覚言語障害センターは16日、里町の府中丹文化会館で「開所40周年記念祭」さらに向こうへ」写真展はチラシを開催する。

日本障害者協議会の藤井克徳さん講演

当日は会場として講演する。予約不要で入場無料。

当日は会場で40年の歩みを振り返る展示やバザーを行うほか、ウクライナで戦禍に苦しむ障害者への支援募金も呼びかける。

視覚障害を持つ藤井さんは「きょうさんれん」(旧・共同作業所全国連絡会)の専務理事でもある。いこいの村はあやべネットワーキとともに実行委員会を作り、きょうさんれん40周年記念映画「星に語りて」の上映会を23日に

2022 13:30～16:00
京都府中丹文化会館
(京都府中丹町栗の木寮21-20)

いこいの村聴覚言語障害センター 開所40周年記念祭 ～さらに向こうへ～

開場 13:00
記念式典 13:30～14:40
記念講演 14:50～15:50

講師: 藤井 克徳 氏 (日本障害者協議会 専務理事)

「障害のある人の現在、過去、未来
～平和と人権の尊さを考える
私たち一人ひとりができること～」

平和アビール 15:50～16:00
ウクライナで戦禍に苦しむ障害者の支援募金呼びかけ
写真展「いこいの村聴覚言語障害センター」

主催: いこいの村

映画「星に語りて」 23日I・Tビルで上映

障害者と支援者の模索を描く

本社後援

東日本大震災後、障害者と支援者たちが置かれた困難な状況と解決への模索を描いた映画「星に語りて」(STARRY SKY)が23日、西町I・TビルのI・Tビルで午前・午後・2回上映される。写真はチラシ。

「いこいの村」「あやべネットワーキ」で構成する上映実行委員会主催で、市、市教委、市社協、あやべ市民新聞社など後援。

午前の部は午前9時15分開場、同9時45分開場。午後の部は午後1時半開場、同2時開始。いずれも定員100人で、「リアフリー上映」として字幕と音声ガイドが付いている。

大人1千円、中学生



「星に語りて」は1977年に発足した「きょうさんれん」(旧・全国共同作業所連絡会)の40周年記念映画として、「どんぐりの家」などの作品のある漫画家・山本おさむ氏が脚本を書き、松本勲監督が監督した。

東日本大震災後の取り組みを描く

震災後の岩手県陸前高田市や福島県南相馬市を舞台として、個人情報保護法の下での障害者の安否確認など、様々な課題に直面しながらも打開していった障害者、支援者たちの取り組みを描き、俳優だけでなく障害者たちも出演している。

上映当日は戦禍に苦しむウクライナの障害者たちへの支援募金にも取り組む。

【朝倉聡】

500円、小学生以下無料でチケットは事前予約制。予約と問い合わせは「いこいの村聴覚言語障害センター」(0774-22-1111)へ。

16日に里町の府中丹文化会館で行われる「いこいの村聴覚言語障害センター開所40周年記念祭」でもチケットを販売する予定。駐車場は市役所東駐車場を利用する。